

# オフィスチャレンジ科 ITコース

「障害者雇用での企業就労」を目指す方のための職業訓練



入校前

## 働くことに対する不安

- ・ 障害を開示せず(クローズ)就労したが続かず、次は障害者求人で就労したい。
- ・ 仕事をしていない期間があり、社会復帰することに不安がある。
- ・ 就労経験がなく、就職活動をどのように進めればいいかわからない。
- ・ 自分の障害特性で、どのように働いていけばいいかイメージできない。

障害者雇用で、まず求められることは、  
**自身の特性をきちんと理解しているか(自己理解)**です。



指導員



面接

(自分のことをよくわかっていない…)

△△が苦手ですが、〇〇はできます。  
苦手なことは、□□で対応しています。

✗ どんな人かわからない人を企業は採用できない。

○ 自分にできること、できないことが明確であれば、企業は特性に応じて、仕事を頼むことができる。



訓練を受ける

## オフィスチャレンジ科 3つの方針

### 自己理解

### 自分を知る

訓練を通して、自身の特性(得意なこと、苦手なことなど)を知り、自分に合った就労を目指す。

### 仕事 基本スキル

### 仕事の基本スキルを身に付ける

どのような仕事にも必要な「考える力」「協働する力」などを身に付け、仕事の基礎力を高める。

### 専門スキル

### 専門スキルを身に付ける

業務を遂行するために必要な知識や技能を身に付けて、人材の価値を高める。

修了後

- ・ 自分に合った働き方で
- ・ 自分の能力を活かして

## 就職



職業訓練を通して自己理解を深め、仕事の基本スキルを身につけることで、自分に合った就労を目指す。

# ITコースの訓練内容

## 主な訓練科目

専 門	1. ITビジネス論 2. オフィスソフト基本実習 3. Web制作実習 4. ネットワーク実習 5. ロジカル思考演習
社会生活	6. 社会生活スキル演習
就 職	7. 就職対策演習

未経験でも心配ありません。  
基礎からじっくり取り組みます。



指導員

## 訓練の進め方

訓練では、「①個別課題」、「②グループ課題」を通して、自己理解を深め、企業就労で求められる「仕事基本スキル」や「専門スキル」を身に付けていきます。

### ①個別課題の進め方



①指示を受ける



②進捗をタスク表で管理する



③報告する

系	章	課題	学習ドリル進捗	完了日
ストラテジ系	第1章 企業と法務	1-1	100%	4/25(金)
		1-2	100%	5/8(木)
		令和5年度		5/12(月)
	第2章 経営戦略	2-1	100%	5/13(火)
		2-2	52%	
2-3		0%		
		令和5年度		

タスク表

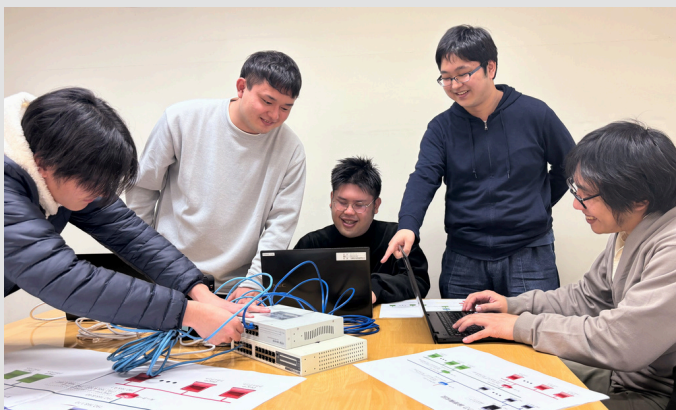
### ねらい:

- 能力に合わせて自分のペースで取り組む。
- 自分でスケジュール、進捗を管理する。
- 指示を受ける、報告、連絡、相談する習慣を身に付ける。

### ②グループ課題の進め方

3人以上が1台のPCの前に座り、意見を出し合いながら問題を解決していく。

- ねらい:
- 他の人と協働して仕事を進める力を養う。
  - メンバー同士で知識やノウハウを共有する。



チームで意見を出し合いながら、皆で楽しく課題をクリアしていきましょう。



指導員

## 1. ITビジネス論

個別

訓練の目的: ITの基礎的な知識を習得する。

目標資格: ITパスポート試験

ITを活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験。



講義を聞く



繰り返し問題を解き知識を定着させる

## 2. オフィスソフト基本実習

個別

訓練の目的: ・ビジネス文書やデータ活用、プレゼン資料など、企業実務で役立つスキルを身に付ける。  
・指示通り正確に作業する力を身に付ける。



目標資格:

- 日商PC検定
- 文書作成3級
- データ活用3級

## 3. Web制作実習

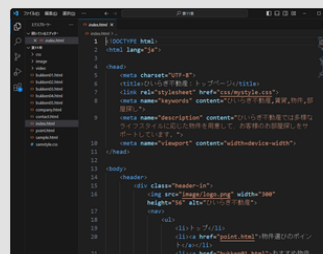
個別

訓練の目的: ・Web制作に必要なHTML・CSSの基礎知識を身に付ける。  
・指示通り正確に作業する力を身に付ける。

目標資格: ウェブデザイン技能検定3級

課題サンプル: HTML

参照: 『よくわかるHTML5&CSS3ウェブサイト構築の基本と実践』富士通エフ・オー・エム



HTML・CSS



実際のWebページ

## 4. ネットワーク実習

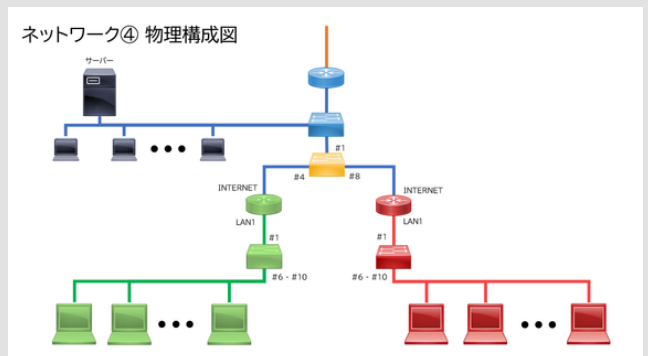
グループ

訓練の目的: ・ネットワークの基礎知識を身に付ける。  
・問題を切り分ける力を身に付ける。

訓練の内容:

- ①実際の機器を用いて、構成図通りの簡易ネットワークをグループで構築する。
- ②通信トラブル発生時に、原因の見つけ方と対処法を学ぶ。

課題サンプル: ネットワーク構成図



## 5. ロジカル思考演習

グループ

- 訓練の目的：**
- ・論理的思考力を身に付ける。
  - ・他者と協働する力を身に付ける。
  - ・情報を視覚的に整理する力を身に付ける。

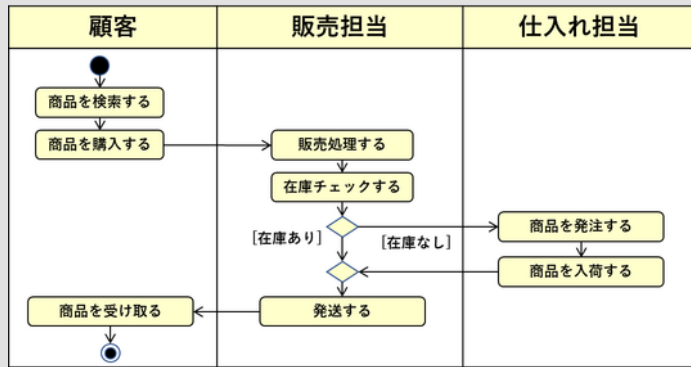
- 訓練の内容：**
- ・プログラミングを体験する。
  - ・業務内容が書かれた文章からアクティビティ図（業務の流れを示す図）を作成する。

課題サンプル：アクティビティ図

Webショッピングシステム

顧客が商品を検索し、購入すると、販売担当は販売処理をして在庫チェックをします。在庫がなければ仕入れ担当は発注、入荷をします。次に、販売担当は商品を発送し、顧客は商品を受け取ります。

文章から図を作成することで「誰が」「何を」を明確化



## 6. 社会生活スキル演習

グループ

**訓練の目的：**

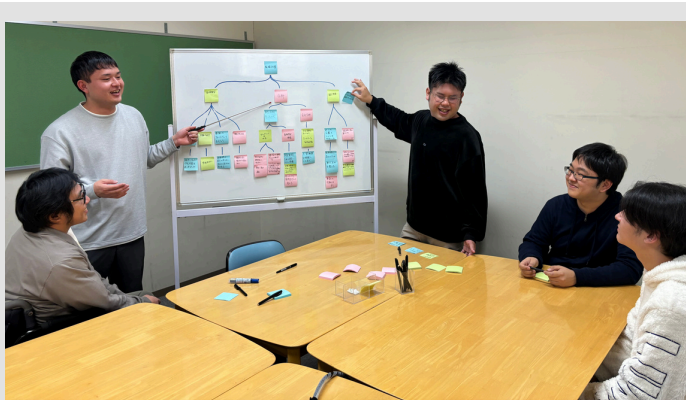
- ・ビジネスマナーや仕事の進め方など、社会生活で必要な力を身に付ける。
- ・他者との対話を通して自己理解を深める。
- ・コミュニケーション力(書く、話す、聞く)を身に付ける。

**訓練の内容：**

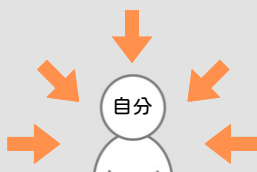
- ・頭の中にあるものを書き出すことで、自分の考えを整理する。(マインドマップ)
- ・テーマに沿ってグループで話し合う。



マインドマップ



周りの人と対話する中で



色んな角度から自分と向き合い自己理解を深める

他の訓練生や指導員との対話の中で、自己理解を深めていきましょう。



指導員

## 7. 就職対策演習

個別

- 訓練の目的：**
- ・自分に合った就職先を見極める。
  - ・自分の障害特性、配慮事項を企業に伝える力を身に付ける。

**訓練の内容：**

- ①自己分析  
アセスメントツールを用いて自己分析を行う。
- ②求人検索  
アセスメントの結果をもとに自分に合った求人を探す。
- ③応募書類作成・面接練習  
自分の特性、配慮事項を応募書類に記載し、企業に伝える



**アセスメントツールとは**

適性検査や就労に向けてのチェックシートなど自己分析の手がかりにするためのツールを指す。

ここでの「アセスメント」は、「評価する」という意味よりも「就労を支援するために必要なニーズや課題等を明らかにし、必要な支援や配慮を検討する」という意味で用いている。

①ジョブ・カード

これまでのキャリアを振り返り、活かせる能力・強みなどを整理することで、今後どのようなキャリアを歩みたいかを考える。

②クリフトンストrengths・テスト

自分の中の最も特徴的な才能や強さを導き出す。

③キャリアインサイト

興味、能力、価値観等を多角的に自己理解し、職業選択に役立つ適性評価、適性に合致した職業を検討する。

④一般職業適性検査 (GATB)

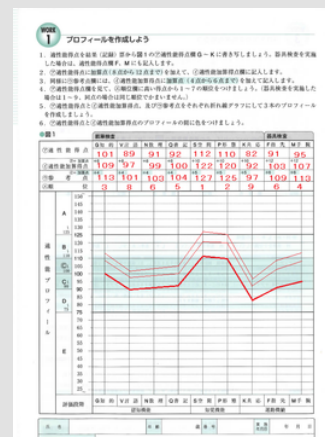
言語能力、数理能力、空間判断力、指先の器用さなど9つの適性を測定し、適性に合致した職業を検討する。

⑤ワークサンプル幕張版 (MWS)

OA作業、事務作業、実務作業を疑似体験することで、自身の適性や職業上の課題を把握する。

⑥就労支援のためのアセスメントシート

自身の現状や将来の希望、自己評価、他者評価をもとに、就労に向けての課題や長所を整理する。



④一般職業適性検査 (GATB)



⑥就労支援のためのアセスメントシート

自分に合う企業に就職するために、まずは自分を知ることから始めましょう。



指導員

# 想定する訓練生のイメージ

● 自己理解 ● 仕事基本スキル ● 専門スキル

**Aさん 32歳**  
障害名：うつ病

前職での長時間労働の結果、うつ病を発症する。症状が落ち着いてきたため、社会復帰したいと思っているが、休職期間が長く、働き始めることに不安を感じている。



▼ 訓練を通して..

- 1日6時間であれば継続して働けることがわかった。
- 得意だった整理整頓が、強みになることがわかった。
- 資格試験に合格し、自信がついた。
- ITの基本的な知識を習得した。
- Word、Excelを習得した。

▼ 就職

職種：事務補助  
パートタイム  
(1日6時間)



**Bさん 23歳**  
障害名：自閉スペクトラム症 (ASD)

今まで働いた経験がなく、就労のイメージができない。障害者求人を探そうと思っているが、自分に何が向いているのかもわからず、就職活動もどのように進めていいかわからない。



▼ 訓練を通して..

- 訓練でデータ入力の適性があることがわかった。
- ビジスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。
- コミュニケーション力が向上した。
- PCの入力作業が、素早く正確に行えるようになった。

▼ 就職

職種：データ入力  
フルタイム



**Cさん 27歳**  
障害名：注意欠如・多動症 (ADHD)

今まで障害を開示せず(クローズ)就労したが、仕事が続かず転職を繰り返している。自分自身では長く働きたいと思っているが、なぜ続かないかわからず困っている。



▼ 訓練を通して..

- 複数同時作業(マルチタスク)が苦手だが、一つずつの指示であれば正確に作業できることがわかった。
- 自分の特性を理解し、障害を開示(オープン)して就職活動を行った。
- ビジスマナーや報連相など仕事の基本を習得した。

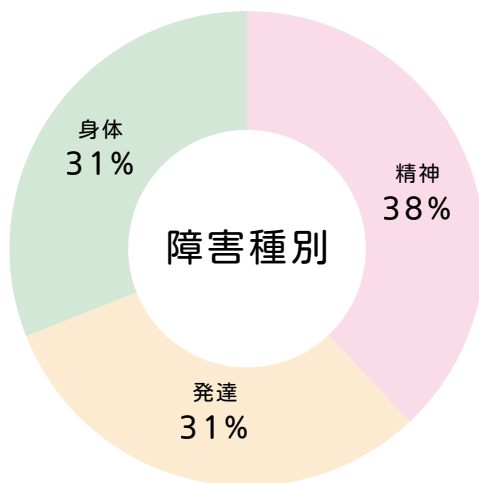
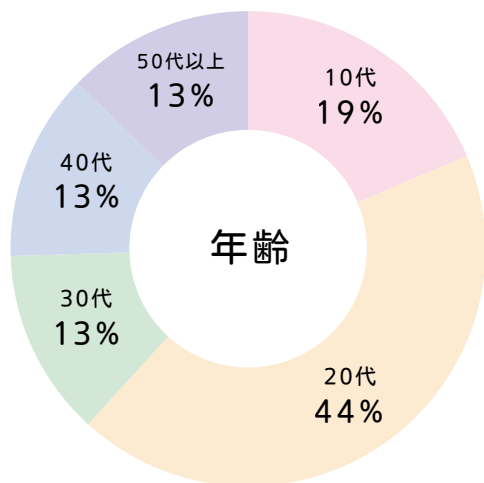
▼ 就職

職種：軽作業  
フルタイム



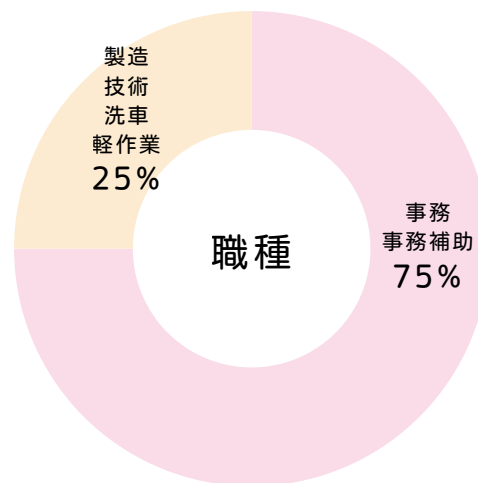
## 訓練生の内訳

(令和7年度 入校生)



## 就職先の内訳

(令和7年度生 就職率100%)



訓練生は、主に10代から30代の方が受講しています。障害種別は、精神障害、発達障害、身体障害と様々な人が訓練に取り組まれています。いろいろな人と同じ教室で訓練に取り組むことは、「他者への理解」「自分の理解」に繋がります。



指導員

